



第6次高松市行財政改革計画 平成25～27年度実績報告書

平成28年8月
高松市

I 総論

- 1 第6次高松市行財政改革計画の戦略的取組と推進体制
- 2 目標効果額と実績効果額
 - (1) 局進行管理体制で取り組む目標効果額と実績効果額
 - (2) 健全財政の目標値と実績値
- 3 計画に変更のあった実施項目等
 - (1) 計画に追加した実施項目
 - (2) 中止とした実施項目

第6次高松市行財政改革計画（平成25年4月策定）

《計画期間》平成25～27年度（3年間）

短期的な効果額を
出す取組

中・長期的な歳入
増・歳出削減の取組

4つの行政経営視点

民間活力導入・協働
の推進によるサービ
スの担い手の多様化

社会構造の変化に対
応する市民サービス
の向上

市民等多様な主体
との協働で創出する
新しい公共の推進

行政運営の基盤とな
る健全財政の維持

4つの重点的取組

効果的な行政体制の
構築と人材育成

市政の見える化や市
民との認識の共有、
コンプライアンスの
徹底

《計画を推進する3つの方策》

業務の総点検

局進行管理制

プロジェクト進行管理制

将来にわたって持続可能な行政経営

(1) 局進行管理体制で取り組む目標効果額と実績効果額

(千円)

目標効果額	25年度	26年度	27年度	累計額
歳入	208,241	299,061	292,870	800,172
歳出	787,189	904,593	1,092,910	2,784,692
効果額 (単年度)	995,430	1,203,654	1,385,780	3,584,864
効果額 (累積)	995,430	2,199,084	3,584,864	

(千円)

実績効果額	25年度	26年度	27年度	累計額
歳入	84,275	75,101	104,562	263,938
歳出	1,226,531	956,214	971,645	3,154,390
効果額 (単年度)	1,310,806	1,031,315	1,076,207	3,418,328
効果額 (累積)	1,310,806	2,342,121	3,418,328	

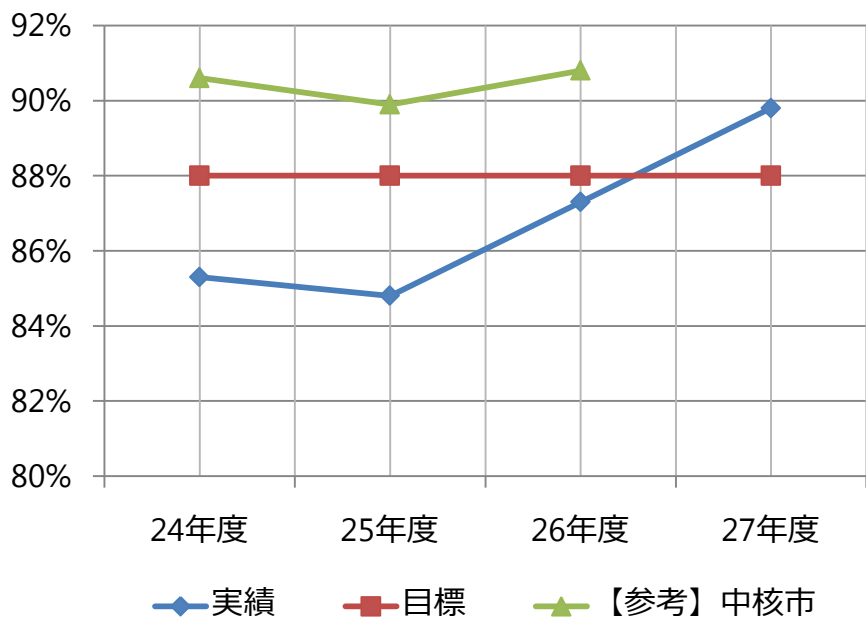
取組項目	実施項目数	目標効果額 (千円)	実績効果額 (千円)	達成度
1 市民等多様な主体との協働で創出する新しい公共の推進				
(1) 市民協働の推進 ① 業務の協働化 ② 外部委託等民間活力の導入	11	—	—	—
2 行政経営の基盤となる健全財政の維持				
(1) 事務事業の改革 ① 業務の改善等 ② 施設の効率的運営・利用率向上 ③ 業務の電子化 ④ 契約等の見直し ⑤ 補助金等の見直し ⑥ 公共事業の見直し ⑦ 受益者負担の適正化 ⑧ 収入増対策	68	649,880	606,057	93.3
(2) 定員・給与の改革 ① 定員・給与の適正化	3	2,110,210	2,430,755	115.2
(3) 資産・債務の改革 ① 債務改善計画 ② 未利用資産の売却・活用 ③ 債権回収の推進 ④ 施設の見直し・適正化	13	20,561	81,340	395.6
(4) 外郭団体等の改革 ① 外郭団体の効率的運営	3	845	4,049	479.2
(5) 特別会計の改革 ① 特別会計の効率的運営	2	87,855	146,998	167.3

取組項目ごとの内訳（平成25～27年度効果額・その2）

取組項目	実施項目数	目標効果額 (千円)	実績効果額 (千円)	達成度
(6) 企業会計の改革 ① 企業会計の効率的運営	1	669,043	0	0
(7) 中・長期的な歳入増・歳出削減の取組 ① 税源涵養の取組 ② ファシリティマネジメントの取組 ③ 多核連携型コンパクト・エコシティの取組 ④ 社会保障費等の抑制の取組	16	46,278	148,548	321.0
3 効率的な行政体制の構築と人材育成				
(1) 市民サービスの向上 ① サービスの提供体制の充実と質の向上	5	—	—	—
(2) 組織の改革 ① 組織機構の見直し	1	—	—	—
(3) 職員の意識改革と人材育成 ① 職員の意識改革 ② 人材育成・能力開発	5	192	581	302.6
4 市政の見える化や市民との認識の共有、コンプライアンスの徹底				
(1) 市政の見える化や市民との認識の共有 ① 市政の見える化や市民との認識の共有	4	—	—	—
(2) コンプライアンスの徹底 ① 職員の倫理意識の向上 ② 監査機能の充実	2	—	—	—
計	134	3,584,864	3,418,328	95.4

① 経常収支比率 (低い方が望ましい指標)

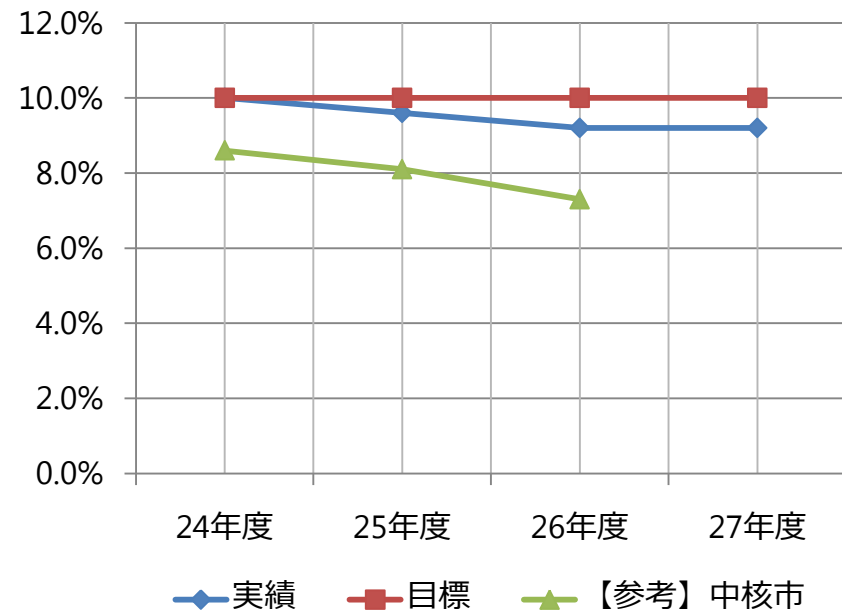
財政指標 (目標値)	平成26年度決算値		実績値 (27年度 決算見込)
	高松市	中核市	
88.0%	87.3%	90.8%	89.8%



扶助費・人件費等の増加により、目標を達成できなかった。

② 実質公債費比率 (低い方が望ましい指標)

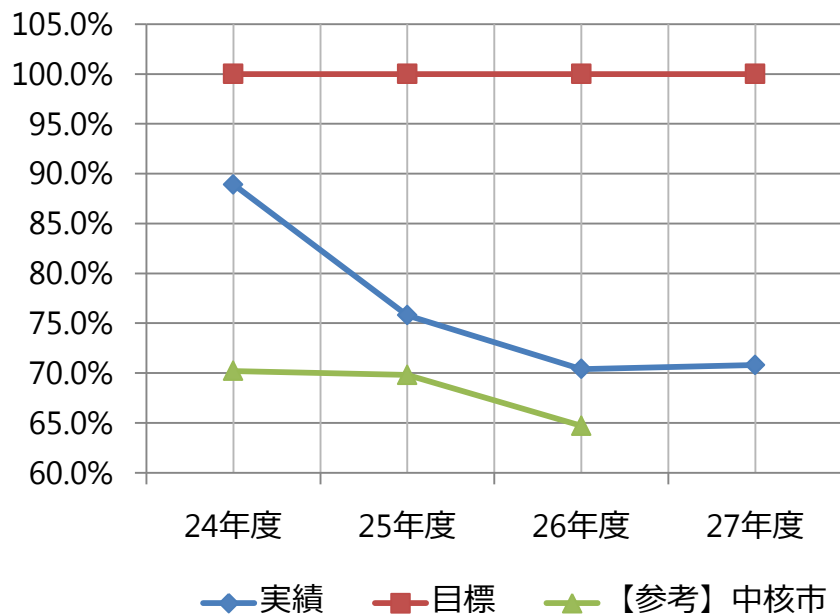
財政指標 (目標値)	平成26年度決算値		実績値 (27年度 決算見込)
	高松市	中核市	
10.0%	9.2%	7.3%	9.2%



交付税措置のある有利な市債の借り入れなどにより、目標を上回っている。

③ 将来負担比率 (低い方が望ましい指標)

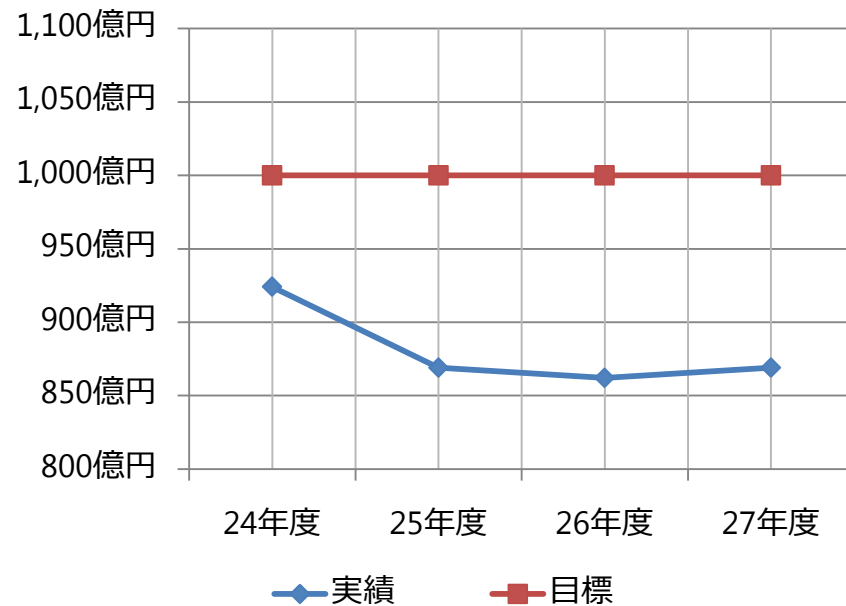
財政指標 (目標値)	平成26年度決算値		実績値 (27年度 決算見込)
	高松市	中核市	
100%	70.4%	64.7%	70.8%



地方債現在高等の増加に伴い、将来負担額が増加したものの、目標を上回っている。

④ 市債残高 (低い方が望ましい指標)

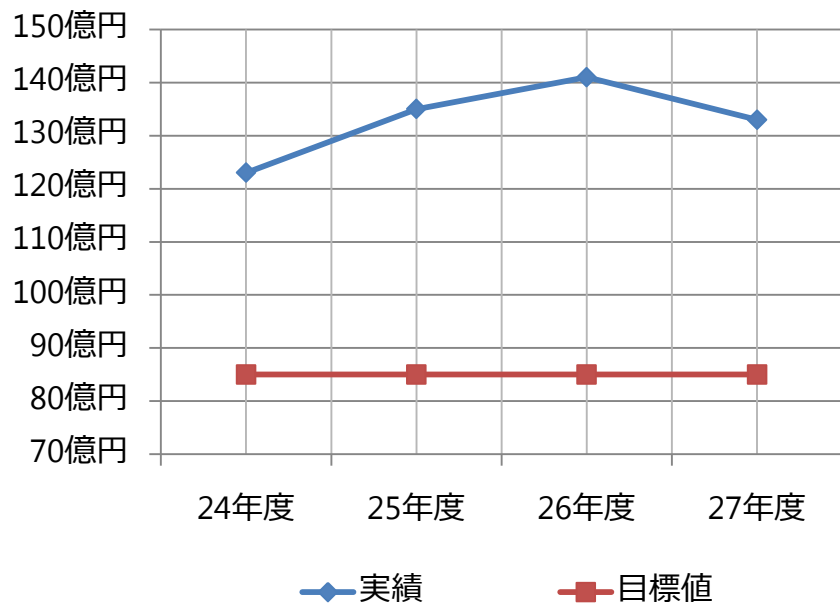
財政指標 (目標値)	平成26年度末 現在残高	実績値 (27年度 決算見込)
1,000億円	862億円	869億円



事業を精査し、計画的な市債の発行を行った結果、目標を上回っている。

⑤ 財政調整基金残高 (高い方が望ましい指標)

財政指標 (目標値)	平成26年度末 現在残高	実績値 (27年度 決算見込)
85億円	141億円	133億円



経費の節減等により、目標を上回っている。

3 計画に変更のあった実施項目等

(1) 計画に追加した実施項目 (その1)

【区分】 1: 効果額の設定
2: 年度末に効果額を算出
3: 効果額以外の数値目標の設定
4: 数値以外の目標設定

No	分類番号 実施項目			実施内容 (概要)	個別目標	区分	効果額目標 実施工程			局
1	4	1	1	【平成25年度公開事業評価対象事業】 より市民に見てもらえるような番組づくりを行うとともに、放送時間帯を見直し、視聴機会の拡大に努める。また、ケーブルテレビ加入率の向上について、事業主体である(株)ケーブルメディア四国に働きかけていく。	(株)ケーブルメディア四国に、加入率の向上について働きかけるとともに、平成26年度からの放送時間帯の見直しを協議し、実施する。	4	—			総務局
	ケーブルテレビ広報事業						25	26	27	
2	2	3	2	【平成25年度公開事業評価対象事業】 未利用財産については、規模、形状、位置関係や未利用財産に至った経緯等、多種多様である。このうち、開発団地の法面や不整形地など利用が困難な土地の維持管理については、草刈や樹木伐採などの地元要望が年々増加傾向にあり、財産管理上の課題となっているため、他市の事例も研究する中で、適切な財産管理に努める。	ファシリティマネジメントの取組の中で、より効果的・効率的な手法を検討する。	4	—			財政局
	公有財産管理事務						25	26	27	
3	2	1	1	【平成25年度公開事業評価対象事業】 各地区衛生組合協議会へのアンケート調査や他都市の状況調査を実施するとともに、これらの調査結果を踏まえ、駆除箇所の見直しなどを行い、事業規模を縮小する。	駆除箇所の見直しにより、事業費の縮減に努める。	1	▲11,000千円			健康福祉局
	害虫駆除事業						25	26	27	

3-(1) 計画に追加した実施項目（その2）

No.	分類番号 実施項目			実施内容（概要）	個別目標	区分	効果額目標 実施工程			局
	2	1	1				25	26	27	
4	2	1	1	<p>【平成25年度公開事業評価対象事業】 がん検診受診者を増やすためには、市民が受診しやすい環境づくりや、効果的ながん予防の普及啓発を継続する必要がある。今後、公開事業評価における意見も踏まえ、企業・事業所など職域との連携を強化し、働き盛り世代の受診率向上対策や、広告媒体を活用した啓発などに取り組む。また、福祉総合システム導入に伴う帳票作成の外部委託により、受診券等に係る経費の抑制に努めるとともに、より効果的な検診案内となるよう改善に努める。</p>	<p>がん検診受診率 向上 (目標29%)</p>	3	—			健康福祉局
	がん対策推進事業						改善継続 検討 実施	改善継続 実施	改善継続 実施	
5	2	1	1	<p>【平成25年度公開事業評価対象事業】 リサイクル率の向上のための新たな取り組みとして、H25年10月から、市内15か所に回収ボックスを設置し有用金属を回収する小型家電リサイクルモデル事業を実施したが、H26年度からは、小型家電リサイクル事業として、回収箇所を増やし実施する予定である。また、評価者の意見や先進地域の事例等を踏まえ、H26年度から、雑がみの回収促進を図る新たな事業や、ごみ分別等の優良な地域の表彰事業を実施する予定である。これら小型家電等リサイクル推進3事業を、ごみ再資源化事業を支え、改善継続するための3本の矢として、H26年度以後、継続実施することにより、リサイクル率の向上を図る。</p>	<p>リサイクル率の 向上 H24年度実績値 20.4% H25年度計画値 21.0% H26年度計画値 21.9% H27年度計画値 22.8%</p>	3	—			環境局
	ごみ再資源化事業						リサイク ル率計画 値21.0%	リサイク ル率計画 値21.9%	リサイク ル率計画 値22.8%	

3-(1) 計画に追加した実施項目（その3）

No.	分類番号 実施項目			実施内容（概要）	個別目標	区分	効果額目標 実施工程		局
	2	1	5				26	27	
6	2	1	5	【平成26年度公開事業評価対象事業】 高松市社会福祉協議会における運営体制の効率的な見直し及び財務体質の強化による経営改善努力の状況等を踏まえ、補助金の削減を実施してきたところであるが、今後も、公開事業評価における意見を踏まえ、さらに法人運営事業（人件費）の補助基準を見直し、段階的に補助金を削減していく。	人件費の補助割合を段階的に削減していく。 支所正規職員の人件費補助割合削減 100% → 80%	1	H27 : ▲6,500		健康福祉局
							協議	支所正規職員の人件費補助割合削減 100→80%	
7	2	1	1	【平成26年度公開事業評価対象事業】 対象となる介護者がもれなく見舞金を受給できるよう、周知啓発に努める。	介護保険課が要介護認定結果を通知する際に、介護見舞金について、分かりやすく記載したチラシを同封する。また、介護支援専門員や民生委員などの関係者に周知啓発を行い、介護者に直接、事業を知らせていく。	4	—		健康福祉局
							協議 検討	推進	

3-(1) 計画に追加した実施項目等 (その4)

No.	分類番号 実施項目			実施内容 (概要)	個別目標	区分	効果額目標 実施工程		局
	2	1	5				26	27	
8	2	1	5	【平成26年度公開事業評価対象事業】 公開事業評価の判定結果を踏まえ、事業費を縮小すべく各事業内容を精査したが、当事業は農業者等の生産技術の習得、生産拡大及び品質の向上等の効果を上げている事業であり、大幅な縮小は困難であるため、事業成果及び農業振興の低下につながらないよう、現在の事業を基本的に維持しつつ、可能な範囲で予算の縮小を検討していく。	① 事業費の縮小 ② 香川町川東校区ふるさと物産まつり地域農産物消費拡大事業については、27年度限りで廃止する。	1	① ▲90千円		創造都市推進局
							26	27	
							①②検討・協議	①▲90千円 ②協議	
9	2	1	1	【平成26年度公開事業評価対象事業】 放置自転車対策事業については、公開事業評価の判定結果が「改善継続」であったことから、快適で安全なまちづくりを目指すため、今後とも、周知・啓発の強化など、見直しを行いながら、より一層の放置自転車対策を推進する。	放置自転車が減少するよう、周知・啓発に努める	4	—		都市整備局
							26	27	
							周知啓発	周知啓発	

3-(1) 計画に追加した実施項目（その5）

No.	分類番号 実施項目			実施内容（概要）	個別目標	区分	効果額目標 実施工程		局
10	2	1	2	<p>【平成26年度公開事業評価対象事業】 現在実施している講座のうち、子どもの居場所づくりのための講座を拡充して、新たに学習の要素を取り入れた「まなびの場づくり事業」として、コミュニティセンターに実施を委託する。 生涯学習センターやコミュニティセンターで実施している講座のうち、人気がある講座や講師について、コミセン職員の定期研修会で紹介するとともに、受講生が少なかったり、固定化している講座を見直し、講座内容の新陳代謝を図る。 同内容で3年以上連続して実施している講座は、同好会へ移行するよう促す。 コミュニティセンターの自由度を高めるため、必須ジャンルやジャンル毎の義務付け回数を見直す。</p>	<p>まなびの場づくり事業 H27年度計画 20コミュニティセンター</p>	3	—		教育局
	コミュニティセンター等講座事業						26	27	
							計画策定 予算要求	20コミュニティセンター で実施	
11	2	7	4	<p>《平成23年度包括外部監査結果・指摘事項》 包括外部監査の指摘や、障害者自立支援法の施行などに対応し、様々な障がい者施策を充実するため、障害者福祉金を廃止し、その財源をより効果的で必要性の高い事業に活用することにより、障害者施策を推進する。</p>	<p>障害者福祉金を廃止し、より効果的で必要性の高い事業を実施</p>	4	—		健康福祉局
	障害者福祉金支給事業						26	27	
							廃止	—	

3-(1) 計画に追加した実施項目（その6）

No.	分類番号 実施項目			実施内容（概要）	個別目標	区分	効果額目標 実施工程		局
12	1	1	1	<p>【平成27年度公開事業評価対象事業】 自治会活動推進事業</p> <p>①高松市連合自治会連絡協議会の運営等に係る経費を補助し、自治会活動を推進する。</p> <p>②市内の各地区（校区）連合自治会に属する単位自治会への新規加入結成や集会所管理運営に係る経費を補助し、自治会活動を推進する。</p> <p>③自治会活動や地域コミュニティ活動の功労者を表彰し、自治会活動を推進する。</p>	平成28年度上半期中に見直しを行い、29年度以降の事業の在り方を決定する。	2	—	27	市民政策局
	自治会活動推進事業						検討		
13	2	7	4	<p>【平成27年度公開事業評価対象事業】 （特定健康診査）</p> <p>健診の受診率を高めることにより、的確にメタボリックシンドロームの該当者、予備軍の抽出を行い、生活習慣病の発症や重症化予防のための特定保健指導等の事業に繋げていく。</p> <p>（人間ドック等）</p> <p>被保険者の受診を促進し、疾病の発生の防止、早期発見による重症化の防止等を図り、もって被保険者の健康の保持増進及び健康管理意識の高揚に寄与する。</p>	内臓脂肪症候群該当者・予備軍の出現率（目標25%）	3	—	27	健康福祉局
	国民健康保険保健事業						改善継続 検討・実施		

3-(1) 計画に追加した実施項目（その7）

No.	分類番号 実施項目			実施内容（概要）	個別目標	区分	効果額目標 実施工程	局
14	2	7	4	<p>【平成27年度公開事業評価対象事業】 健康教室や健康相談の開催場所が分からない、事業がマンネリ化している等の意見を踏まえ、事業の周知の方法や教室内容について再検討するとともに、一層の内容の充実を図り、正しい知識の普及、啓発に向けて改善する中で事業を継続していくほか、健康手帳についても、具体的な活用方法の見直しを行っている。（受診者の増加により、前年度より予算が増額となる。）</p>	成人歯科健康 診査の受診率	3	—	健康福祉局
	健康づくり推進事業						27	
15	2	1	5	<p>【平成27年度公開事業評価対象事業】 地球温暖化対策として、新エネルギーの導入促進を目指し、住宅用太陽光発電システム設置に対する補助を行ってきた。この補助制度（補助金額など）については、これまでも、システムの設置コストや国県の補助金額の状況、また、固定価格買取制度などを踏まえ、適宜、見直しを行ってきたが、今後も必要に応じて見直しを行う。</p>	補助金額など について、設置コストの推移などを踏まえ、必要に応じて見直しを行う。	4	—	環境局
	新エネルギー普及促進事業						27	

3-(1) 計画に追加した実施項目（その8）

No.	分類番号 実施項目			実施内容（概要）	個別目標	区分	効果額目標 実施工程	局
16	2	1	1	【平成27年度公開事業評価対象事業】 公開事業評価の結果を踏まえ、事業を継続する中で、広報たかまつや高松市ホームページ等を活用した市民の意識改革を引き続き行うとともに、優先順位を検討した上で、既存不適格広告物設置者等へ効果的・効率的な周知・啓発を実施していく。	条例改正の内容及び補助制度の活用について、周知・啓発を実施	4	—	都市整備局
	美しいまちづくり事業						27	
17	2	1	2	【平成27年度公開事業評価対象事業】 利用率や使用料収入の増加に向け、片原町駅前のアーケードへの吊り広告の掲示や分かりやすい案内標識の設置、ソーシャルメディアの活用等、新規利用者の開拓に向けた効果的なPR方策を検討する。 あわせて、営利目的等の利用者の使用料（通常の3倍の額）についても、関係部局とも連携し、利用率の向上の観点から、適切な料金設定のあり方などを検討する。	施設利用率を向上させる。	4	—	教育局
	生涯学習センター管理運営事業						27	

No.	分類番号 実施項目			実施内容（概要）	中止の理由	局
1	1	1	2	<p>地球温暖化防止に向けた、行政の率先行動として、市有施設の省エネルギー化を実施するため、民間の技術能力や資金を活用し、省エネルギー改修に関わる全ての経費（建設費、金利、E S C O事業者の経費）を、光熱水費の削減分で賄うE S C O事業を検討する。</p> <p>なお、事業実施に当たっては、高松市ファシリティマネジメントの推進（財産経営課）と連携し、実施する。</p>	<p>【平成25年度をもって中止】</p> <p>市有施設の省エネルギー化を図るため、E S C O事業導入可能性調査を行った。</p> <p>調査の結果、E S C O事業の導入は困難との結論となったが、調査内容を参考に一部施設において照明をL E Dに交換するなど、各施設の省エネ改修の参考とした。</p>	環境局
	E S C O事業の導入					

Ⅱ 各論

1 局進行管理

- (1) 取組状況（局別）
- (2) 目標達成度（局別）
- (3) 効果額（局別）

2 局進行管理体制

3 プロジェクト管理体制

4 （参考）公開事業評価による事務事業の見直し

1 局進行管理

(1) 取組状況 (局別)

局名	実施項目数	A 実施済	B 着手済	C 未着手	D 中止	E 未到来	H25-27 取組項目数
市民政策局	10	6	4				10
総務局	20	12	8				20
財政局	19	16	3				19
健康福祉局	18	14	4				18
環境局	10	8	1		1		9
創造都市推進局	20	12	8				20
都市整備局	10	8	2				10
消防局	5	3	2				5
病院局	4		4				4
上下水道局	7	2	5				7
教育局	10	5	5				10
監査委員事務局	1	1					1
合計	134	87	46		1		133

1-(2) 目標達成度（局別）

局名	H25-27 取組 項目数	5 達成	4 おおむね 達成	3 ある程度 達成	2 やや下回っ ている	1 かなり下 回っている	0 全く出来な かった
市民政策局	10	4	2	3	1		
総務局	20	12	8				
財政局	19	5	11	1	1	1	
健康福祉局	18	9	5	3	1		
環境局	9	6	3				
創造都市推進局	20	12	1		5	1	1
都市整備局	10	5	1		2	2	
消防局	5	4	1				
病院局	4		1	2		1	
上下水道局	7	3	2		1	1	
教育局	10	4		1	3	2	
監査委員事務局	1	1					
合計	133	65	35	10	14	8	1

5 達成：100%以上 4 おおむね達成：100%未満～85%以上 3 ある程度達成：85%未満～70%以上
 2 やや下回っている：70%未満～60%以上 1 かなり下回っている：60%未満 0 全く出来なかった：0%

1-(3) 効果額 (局別)

(千円)

局 名	平成25-27年度の目標効果額			平成25-27年度の実績効果額			進捗率 (%)
	計	歳入	歳出	計	歳入	歳出	
市民政策局	5,139	0	5,139	22,367	0	22,367	435.2
総務局	2,113,645	0	2,113,645	2,433,540	0	2,433,540	115.1
財政局	75,000	75,000	0	146,235	146,235	0	195.0
健康福祉局	85,823	0	85,823	143,507	0	143,507	167.2
環境局	209,821	5,820	204,001	205,316	39,594	165,722	97.9
創造都市推進局	106,732	7,758	98,974	161,483	0	161,483	151.3
都市整備局	24,300	24,000	300	9,267	8,750	517	38.1
消防局	25,305	1,410	23,895	34,342	10,447	23,895	135.7
病院局	669,043	669,043	0	5,023	0	5,023	0.8
上下水道局	269,025	16,961	252,064	256,535	58,823	197,712	95.4
教育局	1,031	180	851	713	89	624	69.2
監査委員事務局	—	—	—	—	—	—	—
合 計	3,584,864	800,172	2,784,692	3,418,328	263,938	3,154,390	95.4

▶ 平成25～27年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	10件	効果額		目標達成度	
【取組状況】		目標効果額	5,139千円	※達成	4件
実施済	6件	実績効果額		※おおむね達成	2件
着手済	4件	歳入	— 千円	ある程度達成	3件
未着手	件	歳出	22,367千円	やや下回っている	1件
中止	件			かなり下回っている	件
未到来	件	計	22,367千円	全く出来なかった	件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	435.2%	【達成率】 ※の割合	60.0%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
2	1	5	平成25年4月に塩江町及び国分寺町コミュニティバスの運賃見直し（大人100円→200円、小人50円→100円）を行ったほか、各地区の利用促進協議会等で、コミュニティバス、乗合タクシーの運行計画やルートの改善について協議を行った結果、25年度に塩江町、国分寺町コミュニティバスのダイヤ改正及び香川町コミュニティバス、山田地区乗合タクシーで運行ルートの見直しの上、それまで休止していた木曜日の運行を再開したほか、26年10月から、コミュニティバス等にI r u C aシステムを導入、電車・バスの乗り継ぎ割引や高齢者運賃半額制度（ゴールドI r u C a）の適用を可能とするなど、利便性の向上に努めました。これにより、利用者数が増加するなど、コミュニティバス等全体の収支改善が図られ、補助金の削減につながりました。	【平成25～平成27年度】 ▲21,617千円
「コミュニティバス等維持費補助金」の見直し				

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none">● 地域まちづくり交付金において、平成25年度に敬老会事業の同交付金への一元化及び交付基準の見直しを行い、平成26年度から実施するとともに、交付基準の見直しに伴う激変緩和措置（平成26年度～28年度）を実施しました。● 高松市婦人団体連絡協議会の運営事業補助金及び高松市男女共同参画市民フェスティバル補助金について、計画どおり補助金の減額を実施しました。
課題	<ul style="list-style-type: none">● 限られた財源である地域まちづくり交付金を、地域で更に有効に活用し、地域が活性化するような方策が必要です。● 自治会が解散となったり、新興住宅等で自治会が結成されていなかったりする地域への防犯灯LED化推進事業の対応について、検討する必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none">● 地域まちづくり交付金の適正な執行が図られるよう、執行管理を行うとともに、地域コミュニティ協議会の組織体制強化を支援します。● 将来的なCO2及び維持管理経費削減を視野に入れたLEDへの切替えについては、実施期間を平成28年度から平成29年度まで延長し、引き続き、LED等への切替えを推進していきます。

▶ 平成25～27年度の取組実績評価（局評価）

達成度				
取組項目数	20件	効果額		目標達成度
【取組状況】		目標効果額	2,113,645千円	※達成 12件
実施済	12件	実績効果額		※おおむね達成 8件
着手済	8件	歳入	— 千円	ある程度達成 件
未着手	件	歳出	2,433,540千円	やや下回っている 件
中止	件			かなり下回っている 件
未到来	件	計	2,433,540千円	全く出来なかった 件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	115.1%	【達成率】 ※の割合 100%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
3	1	1	市民の利便性の向上を図るため、マイナンバーカードの配布開始に合わせて、平成28年2月に住民票の写し等のコンビニ交付を開始しました。	—
証明書のコンビニ交付				
4	2	1	平成26年11月に策定した「コンプライアンス推進施策」に基づき、全職員を対象とした公務員倫理特別研修を実施したほか、コンプライアンスアンケートの結果を踏まえ、平成28年度を始期とする「新コンプライアンス推進施策」を策定しました。	—
コンプライアンスの徹底				

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成27年度に公設民営による塩江ケーブルネットワークの再整備が完了し、サービス提供内容の向上及びサービス提供に係る事務コストの削減により、大幅に事業内容が改善する見込みです。また、平成28年度には総合センターに業務を移管し、迅速な地域サービスの向上を図ります。 ● 研修制度の充実を図るため、管理職員昇任候補者研修、イクボス研修を新たに開催しました。今後は、特定事業主行動計画に基づき、職員の働き方等の意識改革を促し、引き続き、職員の資質・能力の向上を図ります。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成27年度の市民満足度は55%であり、目標の80%に達成できていないことから、今後とも、あらゆる機会を通じ、職員に対し、接遇の向上につながる施策を実施し、さわやかサービスの推進を図ります。 ● 職員提案制度の見直しを行い、制度全般の活性化を図りましたが、自由提案については例年横ばいで推移しており、また、テーマ提案については提案件数が0件のものもあるなど、効果を上げることができませんでした。今後は、職員に対する効果的な周知方法を検討するとともに、制度自体の在り方を見直していきます。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成28・29年度で予定している本市ホームページの全面リニューアルに向けて、庁内で検討チームを設置し、幅広く意見を収集しながら、アクセシビリティの向上を始めとした、市民がより利用しやすいホームページの構築に努めます。 ● 新たに戸籍等証明書についても、マイナンバーカードを使用したコンビニ交付を開始できるよう検討を行います。

▶ 平成25～27年度の取組実績評価（局評価）

達成度					
取組項目数	19件	効果額		目標達成度	
【取組状況】		目標効果額	75,000千円	※達成	5件
実施済	16件	実績効果額		※おおむね達成	11件
着手済	3件	歳入	146,235千円	ある程度達成	1件
未着手	件	歳出	— 千円	やや下回っている	1件
中止	件			かなり下回っている	1件
未到来	件	計	146,235千円	全く出来なかった	件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	195.0%	【達成率】※の割合	84.2%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
2	3	2	活用目的のない未利用地について、一般競争入札等による売払処分を進めていますが、土地需要の停滞などにより、売払実績が伸びない中、郵送による入札や仲介業者の媒介制度等を導入し、売払いを促進するとともに、法定外公共用地についても適切な売却を行い、財源の確保に努めます。	【平成25年度～平成27年度実績】 合計73,771千円
未利用地等の売払				

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名			達成度が低い理由
2	1	8	職員団体と自家用車駐車の有料化及び減免案について、大枠で了解を得ていましたが、計画の最終年度である平成27年度までに合意には至らず、職員の自家用車駐車の有料化の導入は困難となりました。
職員の自家用車駐車の有料化			

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none">● 用途廃止地や旧保留地、元法定外公共物（元農道・水路跡地）など未利用地の一般競争入札等による売却を推進し、効果額目標を大幅に上回る成果を得ました。● ネーミングライツ事業については、導入可能性の検討を行うとともに、引き続き、庁舎案内板のモニターに広告を掲載することにより、広告収入を確保しました。
課題	<ul style="list-style-type: none">● 出先施設における職員の自家用車駐車の有料化については、職員組合から受け入れられない旨の回答があり、協議が中断していますが、再度、有料化の合意に向け粘り強く交渉を継続する必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none">● 出先施設における職員の自家用車駐車の有料化については、関係課とも連携しながら、引き続き、協議を行い職員組合に強く理解を求める中で、適切な対応策を模索しながら、早期合意を目指すよう努めます。

▶ 平成25～27年度の取組実績評価（局評価）

達成度			
取組項目数	18件	効果額	目標達成度
【取組状況】		目標効果額	※達成
実施済	14件	実績効果額	※おおむね達成
着手済	4件	歳入	ある程度達成
未着手	件	歳出	やや下回っている
中止	件		かなり下回っている
未到来	件	計	全く出来なかった
【実施・着手率】	100%	【達成率】	【達成率】 ※の割合
		103,323千円	9件
		— 千円	5件
		143,507千円	3件
		143,507千円	1件
			件
			件
			77.8%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
3	1	1	「高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、民間事業者の認定こども園への移行の支援等を行い、利用希望に対する供給の確保に努めました。	【平成27年度実績】 認定こども園への移行 3件 小規模保育事業 2件 事業所内保育事業 1件
幼稚園、保育所の在り方				

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 敬老事業については、関係団体からの幅広い意見聴取の結果なども踏まえ、敬老祝金の77歳時の支給廃止などにより生ずる財源を、高齢者居場所づくり事業等の新規事業の財源に充てるなど、敬老事業の一体的な見直しに取り組みました。 ● 「高松市地域包括支援センター・保健センター出先機関の統合整備方針」に基づき、総合センター(仮称)への移転後の人員体制や業務内容等の見直しなどに取り組み、各総合センター(仮称)の修繕工事に着手しました。 ● 介護保険事業の健全な運営のため、居宅介護支援事業所の重点検査とともに、ケアプラン点検も実施し、介護保険給付費の抑制に努めました。 ● レセプト点検を充実・強化し、ジェネリック医薬品の使用推進や生活習慣病の重症化予防等について周知・啓発等に努め、国民健康保険の医療費の適正化を推進しました。 ● 「高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、民間事業者の認定こども園への移行(3件)や小規模保育事業(2件)、事業所内保育事業(1件)の開設を認可し、利用希望に対する供給の確保に努めました。また、公立の保育所・幼稚園について、幼保連携型認定こども園への移行を促進するため、「高松市立幼保連携型認定こども園整備基本計画」を策定しました。 ● 包括外部監査の指摘や、障害者自立支援法の施行などに対応し、様々な障がい者施策を充実するため、障害者福祉金を廃止し、その財源をより効果的で必要性の高い事業に活用することにより、障がい者施策を推進しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 国民健康保険、介護保険給付費の適正化 ● 地域包括支援センターと保健センターの出先機関の跡施設の有効活用等 ● 民間事業者による認定こども園への移行及び市立幼稚園・保育所の幼保連携型認定こども園への移行推進
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 国民健康保険・介護保険給付費の適正化に向け、引き続きレセプト点検の充実・強化や生活習慣病の重症化予防等を図るとともに、市民への周知・啓発活動等を行うなど、さらに取組みを進めていきます。 ● 地域包括支援センターと保健センターの出先機関を統廃合した、跡施設の有効活用や管理運営方法の在り方を検討していきます。 ● 「高松市子ども・子育て支援推進計画」に基づき、民間事業者の認定こども園への移行の支援等を行うほか、市立の幼稚園・保育所については、幼保連携型認定こども園への移行を計画的に行っていきます。

▶ 平成25～27年度の取組実績評価（局評価）

達成度				
取組項目数	10件	効果額		目標達成度 （中止を除く）
【取組状況】		目標効果額	209,821千円	※達成 6件
実施済	8件	実績効果額		※おおむね達成 3件
着手済	1件	歳入	39,594千円	ある程度達成 1件
未着手	1件	歳出	165,722千円	やや下回っている 1件
中止	1件			かなり下回っている 1件
未到来	1件	計	205,316千円	全く出来なかった 1件
【実施・着手率】	88.9%	【達成率】	97.9%	【達成率】 ※の割合 90.0%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
2	1	4	「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」が平成24年7月1日から施行され、余剰電力売払単価が増額となったことから、南部クリーンセンターにおいて、余剰電力の売払いに係る契約の見直しを行い、売却料の増収を図りました。	【平成25年度～平成27年度実績】 合計38,059千円
余剰電力売払に係る契約の見直し				

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみ収集体制について、平成26年度に4t収集車を2台減車するとともに、職員6人を減員し、収集コストを縮減しました。 ● 南部クリーンセンターにおいて余剰電力の売払いに係る契約の見直しを行い、売却料の増収を図りました。 ● 市有財産を活用した再生可能エネルギーの普及促進に係る事業として、市有地3か所を太陽光発電事業者へ貸し出し、当初計画を上回る貸付料収入を得ることができました。 ● し尿と下水の共同処理事業の平成29年度からの本格稼働に向け、衛生処理センター中継所内に前処理施設の整備を完了しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 合併町の旧一般廃棄物処理施設について、順次、最終処分場の廃止による維持管理コストの縮減や焼却施設跡地の貸付けによる活用を進めてきましたが、残存する香川環境センター及び庵治清掃工場については、引き続き解体撤去や跡地の有効利用について検討する必要があります。 ● ごみ再資源化事業の指標となるリサイクル率については、近年伸び悩みの傾向があります。これには、インターネットの普及による紙媒体の利用の減少や、スーパー等の大型店舗による資源ごみの店頭回収が推進されていることが影響していると考えられます。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみ資源化事業については、小型家電等リサイクル事業を継続実施することにより、リサイクル率の向上を図ります。 ● ごみ収集体制について、直営収集部門の平成30年度からの段階的な委託に伴い、収集車の減車等を行うとともに、家庭系ごみの収集運搬に係る既委託業務の契約方法について、競争が働く契約方法の導入を検討します。 ● 市有地の太陽光発電事業者への貸付けを平成28年度に新規で1か所追加し、合計4か所とする予定です。 ● し尿と下水の共同処理事業について、平成28年度に東部下水処理場と連携して試験運転を行い、平成29年度から本格稼働する予定です。

▶ 平成25～27年度の取組実績評価（局評価）

達成度			
取組項目数	20件	効果額	目標達成度
【取組状況】		目標効果額	106,732千円
実施済	12件	実績効果額	※達成 12件
着手済	8件	歳入	※おおむね達成 1件
未着手	件	歳出	ある程度達成 件
中止	件	計	やや下回っている 5件
未到来	件		かなり下回っている 1件
			全く出来なかった 1件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	151.3%
			【達成率】※の割合 65%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名	実施内容（概要）	効果額等
2 5 1	定年・中途退職者の補充を行わないとともに、適正な事業運営を行うため、自動車券発売機を導入するなど、省力化に取り組みました。また、労使交渉を重ね、臨時従業員の任用数を開催レースのグレードに応じた人数に見直し、経費の削減に努めました。	【平成25年度～平成27年度実績】 合計117,281千円
競輪事業の効率的運営		

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名	達成度が低い理由
2 1 5	関係団体が主催する観光イベントに対する補助金については、補助金の適正化に向けて検討を行いました。自主財源の捻出が困難な団体も多く、具体的な見直しには至っていません。今後は、各イベントにおける事業費の削減を図るとともに、広告収入等の事業収入増加を促進し、補助金算定方法の見直しを検討します。
観光イベントに対する補助金の見直し	

分類番号・実施項目名			達成度が低い理由
2	1	5	国分寺町、香南町の文化祭実行委員会に対し、補助を行っています。平成25年度、平成26年度と同額の補助金交付となりました。引き続き、市内他地区文化祭の支援方法と統一されるように努めます。
合併町地区文化祭事業補助金の見直し			

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 高松市畜産共進会について、家畜伝染病予防の観点から審査方式を変更することなどにより負担金を削減することができました。 ● 中央卸売市場で発生する廃棄物の縮減及び再資源化の促進について、関係者に周知・啓発を行ったことにより、経費の縮減につなげることができました。 ● 音の祭り事業負担金及び文化団体活動事業補助金について、実施方法等の見直しを行った結果、経費を縮減することができました。 ● サンドヒルかほく市高松グラウンド・ゴルフ大会補助金について、関係団体と協議した結果、補助金を削減することができました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 収蔵品情報管理システムについて、未登録のものを順次登録し、多くの情報を発信できるように取り組む必要があります。 ● 小学校体育施設の開放事業について、平成27年度中に実施したアンケート結果を分析し、受益者負担制度の導入について検討する必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成25～27年度の取組みについては、概ね目標どおり達成できましたが、一部の取組みにおいて、更なる見直しを図り、効率的運営に努める必要があります。また、協議・調整を進める必要がある取組みについては、関係団体等との協議を継続的に実施するとともに、引き続き進行管理を徹底し、市民サービスの向上と経費の削減に努めます。

▶ 平成25～27年度の取組実績評価（局評価）

達成度				
取組項目数	10件	効果額		目標達成度
【取組状況】		目標効果額	24,300千円	※達成 5件
実施済	8件	実績効果額		※おおむね達成 1件
着手済	2件	歳入	8,750千円	ある程度達成 1件
未着手	1件	歳出	517千円	やや下回っている 2件
中止	1件			かなり下回っている 2件
未到来	1件	計	9,267千円	全く出来なかった 1件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	38.1%	【達成率】※の割合 60.0%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
2	1	1	放置自転車の削減に向け、学校等への周知文書を配布するなど、周知・啓発の強化を行うとともに、放置自転車禁止区域等における移送・撤去を継続して実施しました。また、市民からの要望に応えるため、平成28年度からの放置自転車の保管所における返還日時を月～金曜日（9時～17時30分）から火～土曜日（10時30分～19時）に見直しました。	放置自転車の移送・撤去数は、平成27年度において約6.5千件と、24年度の約8千件から1.5千件減少。

➤ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名			達成度が低い理由
1	1	1	市民への道路愛護意識の高揚を図るため、ホームページなどを通じて単位自治会等へ加入の働きかけを行いました。結果として目標を下回る1団体の新規認定に留まりました。引き続き、今後も根気強く、自治会・企業への呼びかけや周知活動を展開してまいります。
道路愛護団体による道路愛護の推進			
2	1	7	利用料を改定（値上げ）した一時利用の相当数が定期利用へ移行したことに伴い、当初見込んでいた一時利用収入が伸び悩み、収支バランスの健全化に向けた目標を大きく下回りましたが、一定（目標値の4割程度）の収益増となっていることから、今後とも利用促進に取り組んでまいります。
レンタサイクル事業の見直し			

実績概要

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ● 「フラワーフェスティバルの見直し」については、イベントの充実を図るとともに、経費の削減目標を達成しました。また、学校花壇コンクール参加校数についても目標の65校を達成しました。 ● 「市営駐車場の効率的運営及び利用促進」については、平成26年度に策定した「高松市立駐車場中期経営計画」に基づき、修繕を実施しました。 ● 「(財)高松市花と緑の協会の清算」については、平成25年度における清算終了を受け事業に対する補助金を廃止し、以後の各種緑化事業は本市において直営で実施いたしました。 ● 「丸亀町再開発事業の推進」については、オブザーバーとして指導・助言を行う中、平成26年度に再開発事業準備組合が設立され、27年度には事業の推進計画が作成されました。 ● 「放置自転車等対策事業」については、放置自転車の削減に向け、学校等への周知文書を配布するなど、周知・啓発の強化を行うとともに、放置自転車禁止区域等における移送・撤去を継続して実施しました。また、市民からの要望に応えるため、平成28年度からの放置自転車の保管所における返還日時を月～金曜日（9時～17時30分）から火～土曜日（10時30分～19時）に見直しました。 ● 「美しいまちづくり事業」については、屋外広告物改修等事業の補助対象となる既存不適格広告物の広告主に対し、ホームページや新聞広告への掲載により、周知・啓発を行いました。
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路愛護団体による道路愛護の推進、管理漁港・管理港湾の効率的運営及び利用促進など、目標達成度の低い項目があることから、今後の目標達成に向け、効果的な対策を検討します。
今 後 の 取 組	<ul style="list-style-type: none"> ● 「道路愛護団体の認定」については、引き続き、取組項目の目標達成に努めるとともに、自治会・企業への呼びかけやホームページでの積極的な周知を行い、事業の推進を図ります。 ● 「管理漁港・管理港湾の効率的運営及び利用促進」については、地元関係者及び関係機関との協議・調整により利用促進に取り組み、地域の活性化に努めます。

▶ 平成25～27年度の取組実績評価（局評価）

達成度				
取組項目数	5件	効果額		目標達成度
【取組状況】		目標効果額	25,305千円	※達成 4件
実施済	3件	実績効果額		※おおむね達成 1件
着手済	2件	歳入	10,447千円	ある程度達成 件
未着手	件	歳出	23,895千円	やや下回っている 件
中止	件			かなり下回っている 件
未到来	件	計	34,342千円	全く出来なかった 件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	135.7%	【達成率】※の割合 100%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
1	1	1	大規模災害時には、小規模な自主防災組織では活動に限りがあったことから、より広い地域を包括する自主防災組織の結成を促進し、併せて地域特性や結成世帯数に応じた防災資機材を助成することにより、平成26年度までに活動カバー率100%を達成しました。 また、新たな事業として24年度からの3年間で、小学校区を単位として、実践的な訓練を実施した地域コミュニティ協議会に対し、訓練に必要な資機材や炊出し等の経費を1回限りで補助することにより、市民の防災意識を高め、地域の防災力の向上を図りました。	58の地域において包括的な自主防災組織が結成され、活動カバー率100%を達成しました。また、地域コミュニティ協議会が主体となって実施する訓練の支援を行うなど、自主防災組織の育成に努めました。
自主防災組織の結成促進				

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
2	1	5	消防分団を運営するための補助金について、平成25年度から廃止しました。	消防団分団運営交付金及び香川県消防操法大会参加分団運営交付金の廃止 25年度 ▲7,965千円 26年度 ▲7,965千円 27年度 ▲7,965千円 合計 ▲23,895千円
消防分団を運営するための補助金の見直し				

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 58の地域において包括的な自主防災組織が結成され、活動カバー率100%を達成しました。 ● 新たに19か所の「まちかど救急ステーション」を認定し、110か所としたほか、応急手当の資格講習を延べ137回実施しました。 ● 廃棄予定の消防車両を有効活用するため、消防車両延べ10台を売却し、増収を図りました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 自主防災組織の結成促進については、目標を達成できましたが、大規模災害時において実効性のある活動組織となるよう、今後は、自主防災組織の育成強化に努めます。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 自主防災組織の育成強化のため、地域コミュニティ協議会等が実施する訓練の支援を行います。 ● 「まちかど救急ステーション」認定事業所の増加に努めます。 ● 廃棄予定の消防車両を売却し、増収を図ります。

▶ 平成25～27年度の取組実績評価（局評価）

達成度			
取組項目数	4件	効果額	目標達成度
【取組状況】		目標効果額	※達成
実施済	件	669,043千円	件
着手済	4件	実績効果額	※おおむね達成
未着手	件	歳入	ある程度達成
中止	件	— 千円	2件
未到来	件	歳出	やや下回っている
		5,023千円	件
		計	かなり下回っている
		5,023千円	1件
			全く出来なかった
			件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	0.8%
			【達成率】 ※の割合
			25%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
2	1	4	施設管理、守衛、駐車場管理、清掃の4項目の契約については、参入業者の増加を図り、25年度では、清掃業務で年間73万円の節減を図りました。 26年度には清掃業務範囲・頻度の仕様見直しなど、更なる改善に取り組み、約160万円の節減を図りました。 27年度は、4項目全ての分野で、質を確保しつつ、長期継続契約を導入したほか、守衛及び駐車場管理業務の包括委託を行うなど仕様の見直しを図りました。	平成25年度 ▲730千円 平成26年度 ▲1,611千円 平成27年度 ▲2,682千円 合計 ▲5,023千円
高松市民病院施設管理委託方法の見直し				

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名			達成度が低い理由
2	6	1	塩江分院と香川診療所で黒字となりましたが、病院事業の中核である市民病院は、目指すべき医療機能の指標となる平均在院日数や診療単価は向上した一方で、十分な医師数の確保には至らず、また、新県立中央病院を始めとする周辺医療機関の開院・改築などの影響により、患者数等が大きく減少したことなどから、医業収益は悪化し、目標を大きく下回りました。
高松市病院事業経営健全化計画への取組			

実績概要

成果

- 医事業務の委託については、指名競争入札を導入したほか、病診連携を進めるための受付業務を拡大しました。また、病院の経営管理に寄与する専門職として、診療情報管理士を2名採用しました。
- 高松市民病院の施設管理業務については、参入業者の増加を図るとともに、仕様の見直しなどに取組み、経費節減を図りました。
- 新病院整備事業については、国の医療施策の方向性等を踏まえ「実施設計の見直し」を行うとともに、整備地内の「造成工事」や「雨水調整池工事」を竣工したほか、病院棟、保育所棟、外構及び附帯施設を整備する「建設工事」に着手しました。また、新病院・附属医療施設の医療機能については、国の医療施策の方向性や本市高齢者保健福祉計画との整合性等を踏まえ検討しました。
- 経営の健全化については目標をかなり下回ったものの、良質な医療の提供と経営の健全化については、
 - ① 「医療の質の確保」に向けた取組みでは、医療職の専門性を踏まえ、医療職給料表を導入するとともに、医師確保のための任期付短時間勤務職員制度を創設しました。また、市民病院では、「病院医療機能評価」の認定を受けるとともに、「ICU施設基準」や「地域医療支援病院」の承認を受けました。さらに、救急専門医の育成を通じて救急医療の充実が図れる「救急科専門医指定施設」の認定を受けるなど、リーディングホスピタルとして機能の充実を図りました。また、塩江分院では、「在宅療養支援病院」として、患者の在宅療養を支援したほか、「地域医療のつどいin塩江」を開催し、医師の育成に努めました。香川診療所では、地域包括ケアを見据えた健康教室や出張講座を実施し、住民参加型医療に取り組みました。
 - ② 「医療の透明性の確保」に向けた取組みでは、外部有識者等による地域医療連携推進委員会を開催したほか、「地域医療連携だより」及び「医師紹介パンフレット」を発行することにより、地域医療機関との連携の推進・充実に努めました。
 - ③ 「医療の効率性」に向けた取組みでは、ジェネリック医薬品の採用拡大を始め、院内の物品・物流システム及び使用医療器械の見直しや、長期契約の採用、時間外勤務の削減など、経費全般についての節減に努めました。

実績概要

課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 高松市民病院の施設管理業務については、患者サービスが低下しないことを前提に、経費節減を図るため、業務の組合せや仕様を更に見直す必要があります。 ● 新病院の整備については、平成30年度前半の開院に向け、計画的な整備に取り組む必要があります。附属医療施設の整備については、整備用地を取得する必要があります。また、両施設の医療機能については、引き続き国の医療施策の方向性等に対応する必要があります。 ● 良質な医療の提供と経営の健全化については、職員全員が、市立病院の基本理念「生きる力を応援します」の実現に向け、「市民から選ばれる病院」となるよう、全力で取り組んでいく必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 診療情報や医事業務については、業務量の変化に対応した柔軟な人員配置を行うとともに、診療情報管理士を中心にD P Cコーディング(疾病等のコード化)の精度を高め、医療データの分析を推進し、適切に医事業務を行います。 ● 包括委託や長期継続契約に関しては、新病院の移転時期を踏まえながら、業務の質の確保と経費節減に努めます。 ● 新病院の整備については、平成30年度前半の開院を目指し計画的な整備に、附属医療施設の整備については、整備場所を取得し、設計業務に着手できるよう、全力で取り組みます。また、新病院、附属医療施設の医療機能については、今後とも国の医療施策の方向性等を踏まえ対応します。 ● 良質な医療の提供と経営の健全化については、引き続き、「高松市病院事業経営健全化計画」に基づき、各種施策に取り組むこととし、特に次の点を重点的に取り組みます。 <ol style="list-style-type: none"> ① 新病院の医療機能を十分に発揮できる医師数を確保するため、新たに、「海外の医療機関との交流の推進」、「医師求人サイトを利用した情報発信」、「県外の香川県出身医学生への働きかけ」などに取り組みます。 ② 急性期医療を担う中核病院として、救急車搬送患者を積極的に受け入れるとともに、救急診療から手術、入院へとスムーズに患者を受け入れることができるよう、救急医療の強化を図り、また、地域医療支援病院として、紹介・逆紹介率の向上など地域医療機関との連携強化に努めます。 ③ 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで続けられるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援を一体的に提供する地域包括ケアシステムの一翼を担うため、地域包括ケア病棟の開設を始め、関係機関との連携等により在宅復帰率の向上を図るなど、市立病院として積極的に取り組みます。

▶ 平成25～27年度の取組実績評価（局評価）

達成度				
取組項目数	7件	効果額		目標達成度
【取組状況】		目標効果額	269,025千円	※達成 3件
実施済	2件	実績効果額		※おおむね達成 2件
着手済	5件	歳入	58,823千円	ある程度達成 1件
未着手	1件	歳出	197,712千円	やや下回っている 1件
中止	1件			かなり下回っている 1件
未到来	1件	計	256,535千円	全く出来なかった 1件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	95.4%	【達成率】 ※の割合 71.4%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
2	1	8	未接続世帯への戸別訪問やチラシ等による周知・啓発活動に取り組んだ結果、接続率を平成24年度末の90.2%から91.1%に上昇させることができ、それによって58,242千円の収入増を達成できました。 今後も戸別訪問等による接続率の向上に取り組み更なる収入増を図っていきます。	平成25年度 9,158千円 平成26年度 21,079千円 平成27年度 28,005千円 合計 58,242千円
公共下水道接続率の向上				

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名			達成度が低い理由
2	1	2	当初、計画期間内に年2施設の利用施設数の増加を見込んでいましたが、再生水の利用に当たっては、専用の受水槽等を利用者側で整備する必要があることや、近年、渇水による給水への影響が少なかったことなどから、目標達成ができませんでした。
再生水利用下水道整備事業における既存施設の有効活用			

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共下水道の接続については、平成26年度から普及促進係を新設するなど、未接続世帯への戸別訪問や周知・啓発活動に重点的に取り組んだ結果、接続率を24年度末の90.2%から91.1%に上昇させることができ、約58,242千円の収入増を達成できました。 ● 県営水道からの受水量の削減により、受水費が減少しました。 ● 鉛製給水管引換工事助成制度の運用範囲を拡充し、助成制度の利用促進を図るとともに、広報紙やホームページ等のほか、鉛管使用者への戸別通知を実施するなど制度等の周知に努めたため、助成制度の利用件数が増加しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 建設資材費や労務費等の高騰による事業費の増加により、危機管理センター建設事業負担金等、大きな資金需要が見込まれ、財政状況を逼迫していることから、目標を下回っている項目について、より重点的に取り組むことにより、県内水道広域化を見据えた、健全な事業運営を行う必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成27年度に見直した上下水道事業基本計画に基づき、今後も、将来にわたり健全で持続可能な企業経営を目指して、下水道未接続世帯の解消や県水依存率の低減などにより、効率的で健全な事業運営を目指します。

▶ 平成25～27年度の取組実績評価（局評価）

達成度				
取組項目数	10件	効果額		目標達成度
【取組状況】		目標効果額	1,031千円	※達成 4件
実施済	5件	実績効果額		※おおむね達成 件
着手済	5件	歳入	89千円	ある程度達成 1件
未着手	件	歳出	624千円	やや下回っている 3件
中止	件			かなり下回っている 2件
未到来	件	計	713千円	全く出来なかった 件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	69.2%	【達成率】※の割合 40.0%

▶ 特に成果を挙げた実施項目

分類番号・実施項目名			実施内容（概要）	効果額等
2	1	2	各種講座（市民等との協働講座）の開催数については、前年度実績からは、やや減少したものの、当初の目標値を上回りました。	【平成27年度実績】 講座回数 376回 （うち市民等との協働講座回数158回）
生涯学習センターの効率的運営および利用率等の向上				
2	1	5	ボーイスカウト香川連盟東地区協議会、ガールスカウト高松地区協議会、及び高松市親子のふれあい活動推進事業の活動状況や事業内容について、協議し精査した結果、補助金額を23年度以降、減額を段階的に進め、26年度にはすべてを廃止しました。	平成25年度 ▲36千円 平成26年度 ▲91千円 平成27年度 ▲91千円 合計 ▲218千円
ボーイスカウト香川連盟東地区協議会、ガールスカウト高松地区協議会、及び高松市親子のふれあい活動推進事業の補助金の見直し				

▶ 目標達成度がかなり下回っている（60%未満）実施項目

分類番号・実施項目名			達成度が低い理由
2	1	7	平成25年度に講座受講料を原則、300円から400円に引き上げましたが、市民が企画・実施する講座を始め、受講料が無料の講座数の増加等の影響で、受講料収入が減少し、目標を下回りました。
生涯学習センターの講座受講料の見直し			
2	1	8	職員団体と自家用車駐車の有料化及び減免案について、合意に至らず、自家用車駐車の有料化に係る方針・方向性を示すことができませんでした。
学校施設における教職員の自家用車駐車の有料化の検討			

実績概要

成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 契約等の見直し：図書館用定期刊行物（雑誌等）の購入価格の見直し 分室配置分を除き、中央図書館に配置する雑誌について、平成26年度に引き続き5%割引で購入しました。 ● 補助金等の見直し：生涯学習課における各種団体への補助金等の見直し 平成23年度以降、減額を段階的に進め、平成26年度にはすべて廃止しました。 ● 施設の見直し・適正化：学校給食調理場の整備 建設用地に係る調査を終了し、基本設計業務に着手しました。
----	---

実績概要

課題	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティセンター講座：「子どもの居場所づくり」事業に、新たに学習的な要素を加え、いわゆる五教科の学習を行う「まなびの場づくり」事業を創設しましたが、新規事業を広く浸透させることができず、目標を下回りました。 ● 受益者負担の適正化：平成25年度に講座受講料を引き上げたものの、市民が企画・実施する講座を始め、受講料が無料の講座数の増加の影響で、受講料収入も減少し、目標を下回りました。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティセンター講座 「まなびの場づくり」事業について、平成28年度からは、地域からの意見も踏まえ、史跡探訪や自然観察など、地域の実情に合わせた講座を柔軟に実施できるよう、事業の見直しを行います。 ● 契約等の見直し 図書館分室配置分の雑誌については、契約業者が46分室にそれぞれ配送し、配送経費がかかっているため、5%割引での購入契約が難しい状況にあります。引き続き、契約業者と協議・検討を行います。 ● 受益者負担の適正化 生涯学習センターの講座受講料について、受益者負担の原則や市民負担の公平性の観点から踏まえ、今後とも、適正な受講料の設定のほか講座数の確保に努めます。 ● 収入増対策 学校施設における教職員の自家用車駐車の有料化については、市長部局等における進捗状況を踏まえながら、学校関係団体との必要な協議・検討を行います。 ● 施設の見直し・適正化 学校給食調理場の整備については、用地の購入及び実施設計に着手し、早期の給食センター完成に努めます。

▶ 平成25～27年度の取組実績評価（局評価）

達成度				
取組項目数	1件	効果額		目標達成度
【取組状況】		目標効果額	— 千円	※達成 1件
実施済	1件	実績効果額		※おおむね達成 件
着手済	件	歳入	— 千円	ある程度達成 件
未着手	件	歳出	— 千円	やや下回っている 件
中止	件			かなり下回っている 件
未到来	件	計	— 千円	全く出来なかった 件
【実施・着手率】	100%	【達成率】	— %	【達成率】※の割合 100%

実績概要	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 監査委員監査結果の措置通知率（平成28年3月31日現在） <ul style="list-style-type: none"> ①平成25年度分定期監査（指摘） ... 90.5パーセント ②平成26年度分定期監査（指摘） ... 90.0パーセント ③平成11～26年度定期監査（指摘） ... 98.9パーセント ④平成11～26年度全監査（指摘・意見） ... 96.3パーセント * 平成28年5月31日現在の措置通知率は、①～③については100パーセント、④については97.0パーセントとなっている。

実績概要

課題	<ul style="list-style-type: none">● 各局に共通して繰り返し散見される事務処理誤りについて、全庁的な改善を図る必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none">● 監査に当たっては、引き続き、地方自治法第2条第14項（最少の経費で最大の効果を挙げる。）及び同条第15項（組織及び運営の合理化等）の趣旨にのっとり事業が行われているかどうか、また、適法性、効率性及び妥当性の観点に留意し、事務改善や行財政改革の推進に資する監査の実施に努めるとともに、監査結果、措置通知等の公表は、市民に対し、分かりやすく情報発信することに意を用いることとします。

項番	1	分類番号	2	1	2	実施項目	施設利用率向上対策対応
			施設の効率的運営・利用率向上				
関係課			観光交流課 、文化芸術振興課、文化財課（歴史資料館）、スポーツ振興課、美術館美術課、都市計画課、生涯学習課（生涯学習センター）、中央図書館				

取組実績	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 計5回の会議を開催し、関係課において施設利用率等を確認し、現状を把握するとともに、2か年について比較できる形のデータを作成し検討した結果、サービス向上の取組みが利用率向上に直結しないケースがいくつか見られました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 図書館外施設における取置利用など、サービス向上の取組みが施設利用者数の増に比例しないようなケースもあることから、他施設との比較項目や評価方法などについても考慮する必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 創造都市推進局が組織され、情報共有やイベント等の連携がある程度確立されたほか、公共施設再編整備計画を策定するに当たり、今後、施設利用率向上に係る同様のデータを全庁的に共有できることから、今後は関係課で情報を共有しつつ、個々の施設の利用率向上の具体策については、所管課において検討することが望ましい状況です。
目標達成度 (6段階評価)	4 ある程度達成

項番	2	分類番号	2	3	3	実施項目	債権管理の適正化
			債権回収の推進				
関係課			納税課（債権回収室）、国保・高齢者医療課、介護保険課、こども家庭課、こども園運営課、市民病院事務局医事課、住宅課、出納室、お客さまセンター				

取組実績

成果	第2次高松市債権の適正管理方針について、債権回収室で作成した素案を関係各課の意見を聴取した上で、同方針の策定を行いました。また、各課の取組状況や課題等についての意見交換を行い、債権管理・回収に関する情報共有を図ることができました。
課題	納税課以外の債権所管課において、滞納処分や法的措置等の強制執行に係るノウハウが十分ではないため、強制執行等の実績が少ない状況です。
今後の取組	各債権所管課における滞納処分や法的措置による強制執行の実施に当たっての課題を把握し、債権回収室が各課の債権管理・回収に係る取組みをサポートすることにより、本市全体の債権回収の取組みを進めます。
目標達成度 (6段階評価)	6 達成

項番	3	分類番号	2	7	2	実施項目	ファシリティマネジメントの推進
			ファシリティマネジメントの取組				
関係課			財産経営課 、公共・公用施設等の建築物を保有・維持している全課（ただし、国の指針に基づき進められている土木・インフラ系施設部門等は除く）、政策課、まちづくり企画課、人事課行政改革推進室、財政課、契約管理課、建築課				

取組実績	
成果	<ul style="list-style-type: none"> 高松市ファシリティマネジメント推進基本方針等に基づき、公共施設等総合管理計画、公共施設長寿命化指針、公共施設有効活用・再配置等方針を策定しました。計画等の策定は、プロジェクトチームを中心とした庁内検討により、取りまとめを実施しました。また、公共施設有効活用・再配置等方針や公共施設のあり方に関する市民の意識調査結果等を基に、公共施設再編整備計画(1次)の策定に着手し、庁内検討による取りまとめを行いました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> 高松市公共施設再編整備計画(1次)(案)については、計画(案)を公表し、協議の整ったものから実施計画に移行することとしていますが、施設利用者を含む協議先の選定が十分議論されておらず、ファシリティマネジメントの取組効果の早期発現に向け、議会や地域審議会への報告終了後、市民説明会や関係機関との協議が急がれます。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 高松市公共施設再編整備計画(2次、3次)の策定に向け、施設評価や関連計画との調整など、プロジェクトチームを中心とした、庁内検討による実効性の高い計画(案)を策定し、公表から市民説明会や関係機関との協議を早期に開始する必要があります。
目標達成度 (6段階評価)	5 おおむね達成

項番	4	分類番号	2	7	3	実施項目	持続可能な交通体系の確立
			多核連携型コンパクト・エコシティの取組				
関係課			交通政策課、地域政策課、こども園運営課、高松市民病院塩江分院、学校教育課				

平成28年3月31日解散

取組実績

成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成26年度より、新規運行及び既運行地区で路線・ダイヤ等の見直しを希望する地域への支援策として、「コミュニティバス等導入検討支援補助制度」の運用を開始しました。 ● 市・市民・事業者及び交通事業者が協働して持続可能な地域内公共交通ネットワークを再構築する必要があることから、啓発用DVDを作成し、市内5地区で上映による啓発活動を行いました。 ● 塩江地区における3小学校統合に伴うスクールバスの運行、また、こども園バスとスクールバスを同一業者へ発注し、経費を削減しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成26年度よりコミュニティバス等導入検討支援補助制度が創設され、平成27年度に1団体が制度を活用したものの、新規運行及び路線等の見直しまでには至りませんでした。 ● こども園バスとスクールバス以外のバスについては、統合等、事業の方向性の決定には至りませんでした。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 市・市民・事業者及び交通事業者が協働して持続可能な地域内公共交通ネットワークを再構築できるよう啓発用DVDを活用し、市民等の意識の醸成・公共交通の利用を促進します。 ● コミュニティバス、病院患者輸送バス、スクールバス、こども園バスについては、運行の目的や利用者が求める運行日、時間帯の違いなどから、これ以上の統合が難しく、今後は担当課でそれぞれのバスの課題等に取り組みます。
目標達成度 (6段階評価)	3 (やや下回っている)

項番	5	分類番号	2	7	4	実施項目	保険給付費適正化
			社会保障費等の抑制の取組				
関係課			国保・高齢者医療課、長寿福祉課、介護保険課、地域包括支援センター、保健センター、政策課、地域振興課、産業振興課				

取組実績

成 果	<ul style="list-style-type: none"> ● 第1期高松市国民健康保険および介護保険の保険給付費適正化計画に記載されている14項目の目標値について、約7割の10項目が評価「3」の達成率70%以上となっており、「2」以下の4項目についても、一定以上、改善しています。また、糖尿病予防事業のうち、「特定健康診査」、「特定保健指導の実施率」については、国の目標に準拠もしくは参考に、60%、50%と高い目標値となっていますが、実績としては目標値には達していないものの着実に改善しています。さらに、介護予防事業では、はつらつ介護予防教室の参加率について、27年度の実績は26年度と比較して改善しています。 ● 第2期高松市国民健康保険及び介護保険の保険給付費適正化計画（データヘルス計画）（平成28年度～29年度）を策定しました。 ● 地区コミュニティ協議会をはじめ、各種団体や居場所づくり事業参加団体などを対象に、118箇所、延べ2,889人に周知会を開催しました。 ● 保険給付費適正化への理解を深め、健康づくりと介護予防に取り組むことを目的に、健康長寿川柳の募集や、その受賞作品を掲載したラッピングバスの運行、瓦町フラッグにおいて「みんなで目指そう、健康長寿シンポジウム」を開催しました。 ● 地域コミュニティ別の保険給付費、生活習慣病の割合、各健（検）診受診割合の資料や周知啓発用リーフレットの内容の見直し・修正を行い、周知会参加者のアンケート結果から、9割以上の方が「健康長寿のために新たに取り組みたい」「今取り組んでいることを続けたい」と回答していることから、周知・啓発活動が、市民の健康づくりや介護予防、保険給付費の適正化に対する意識・意欲の向上につながっていると考えられます。
-----	---

取組実績	
課 題	<ul style="list-style-type: none"> ● 特定健診の受診率や特定保健指導の終了率を高め、生活習慣病の予防につなげる必要があります。 ● 糖尿病や慢性腎不全の重症化を予防する必要があります。 ● がんの早期発見・早期治療につなげる必要があります。 ● 薬剤などの医療資源の利用を適正に推進する必要があります。 ● 介護保険の第1号被保険者と、サービスを利用している要支援認定者のうち、新規認定者の介護予防に取り組む必要があります。 ● 引き続き各種団体に周知啓発活動の依頼を行うとともに、周知会に参加していない市民に対し、他の方法での周知啓発活動を検討する必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 上記の課題を踏まえ、第2期国民健康保険及び介護保険の保険給付費適正化計画（データヘルス計画）で評価指標と目標値を定めました。今後、計画の進行管理を行い、その中で2年間の短期目標と、35年度までの中長期目標の双点から目標達成の評価を行います。 ● 関係各課と連携し、周知会未開催団体等に依頼し、周知会の開催につなげます。また、引き続き、周知啓発活動の方法、効果などの検証を行います。
目標達成度 (6段階評価)	6 達成

項番	6	分類番号	3	1	1	実施項目	社会保障・税番号制度の推進
			サービスの提供体制の充実と質の向上				
関係課			人事課行政改革推進室 、情報政策課、コンプライアンス推進課、市民課、人事課、危機管理課、納税課、市民税課、資産税課、健康福祉総務課、国保・高齢者医療課、障がい福祉課、生活福祉課、長寿福祉課、介護保険課、子育て支援課、こども家庭課、こども園運営課、保健対策課、保健センター、住宅課、消防局総務課、学校教育課、保健体育課				

取組実績	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ● プロジェクトチーム会議の開催 3回 ● ワーキンググループの設置（独自利用事務検討WG、個人番号カード利活用検討WG、周知・広報WG） ● プロジェクトチーム会議を通じて、制度における関係課内の共通認識を図り、実質的運用開始である平成28年1月からのマイナンバーの利用開始時において、支障をきたすことなく制度を円滑に導入することができました。また、今後の制度活用を推進するため、3つのワーキンググループを設置し、検討することにより、制度の推進を図りました。

取組実績	
課 題	<ul style="list-style-type: none">● 段階的に開始されるマイナンバー制度においては、平成29年7月から開始の全国連携へ向けた運用テストが控える等、全ての運用が開始されているものではなく、今後の国の動向に注視して、関係各課が連携し、本格稼働へ向け制度の円滑な導入に努めていくことが求められます。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none">● 独自利用事務検討WGや個人番号カード利活用検討WGから報告された内容を検討し、運用化していくための条例整備を進めるほか、更にマイナンバー制度を効率的・効果的に推進するために検討・調整等を重ねます。
目標達成度 (6段階評価)	5 (おおむね達成)

項番	7	分類番号	4	2	1	実施項目	コンプライアンスの徹底
			職員の倫理意識の向上				
関係課			全課				

取組実績	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 平成26年9月に実施した「不祥事防止アンケート」を踏まえ、コンプライアンス推進のための12の提言を含めた「コンプライアンス推進に関する報告書」を取りまとめ、市長へ提出しました。 ● 平成27年度は、平成26年11月に策定された「コンプライアンス推進施策」の実施状況や「コンプライアンスアンケート」の結果を踏まえ、平成28年度を始期とする新たな推進施策の検討を行いました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後も更なる職員のコンプライアンス意識の向上を図り、不祥事の撲滅に向け、平成28年3月に策定した「新コンプライアンス推進施策」を着実に実施していく必要があります。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 「新コンプライアンス推進施策」について、より効果的なものとするため、今後実施予定の「コンプライアンスアンケート」の結果等も踏まえ、必要な見直しを図りながら着実に推進します。
目標達成度 (6段階評価)	6 (達成)

項番	8	分類番号	4	1	1	実施項目	戦略的広報の実施に向けた取組
			市政の見える化や市民との認識の共有				
関係課			環境総務課、政策課、情報政策課、健康福祉総務課、保健センター、産業振興課、都市計画課、教育局総務課、上下水道局企業総務課				

取組実績	
成果	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後の本市における効率的・効果的な広報・広聴活動を行うための基本的な考え方を示すものとして、「戦略的広報の実施に向けた基本的考え方」を策定するとともに、この考え方を実践するため、有効な広報・広聴手法やその考え方を示した「戦略的広報Navi」を作成し、職員に周知しました。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 各部局の広報がバラバラのため、アピール力が不足しています。 ● 各種行事や制度を周知するだけの広報にとどまり、本市の重要政策を分かりやすく伝える広報が不十分です。 ● 広報の対象・目的が不明確であり、各年代層に合わせた情報発信力が不足しています。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ● 今後については、戦略的広報の実施に向けた新たな取組を進めるものとする。 ● 主な取組予定 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを含むデジタル媒体の充実 ・広聴広報課保有媒体の有効活用 ・職員のスキルアップ研修の実施 ・広報アドバイザー（仮称）制度の試行的導入
目標達成度（6段階評価）	5 おおむね達成

4 (参考) 公開事業評価による事務事業の見直し

(1) 平成25年度高松市公開事業評価実施に係る検討状況

(千円)

No.	事業名	担当局 (担当所属)	判定 結果	検討 方向	H25年度 当初予算	H26年度 当初予算
1	ケーブルテレビ広報事業	総務局 広聴広報課	改善 継続	改善 継続	18,310	18,787 (447)
2	公有財産管理事務	財政局 財産管理室	改善 継続	改善 継続	61,277	47,338 (▲13,939)
3	乳幼児医療等医療費助成事業	健康福祉局 こども家庭課	改善 継続	拡充	1,226,713	1,112,667 (▲114,046)
4	害虫駆除事業	健康福祉局 生活衛生課	縮小	縮小	40,462	34,978 (▲5,484)
5	がん対策推進事業	健康福祉局 保健センター	改善 継続	改善 継続	460,954	376,142 (▲84,812)
6	ごみ再資源化事業	環境局 環境保全推進課	改善 継続	改善 継続	190,619	202,582 (11,963)
7	企業誘致・企業支援による地 域産業活性化促進事業	創造都市推進局 産業振興課	拡充	拡充	33,093	275,669 (242,576)
8	花いっぱい推進事業	都市整備局 公園緑地課	改善 継続	改善 継続	44,357	45,533 (1,176)
			合計		2,075,785	2,113,696 (37,911)

4 - (2) 平成26年度高松市公開事業評価実施に係る検討状況

(千円)

No.	事業名	担当局 (担当所属)	判定 結果	検討 方向	H26年度 当初予算	H27年度 当初予算
1	ゆめづくり推進事業	市民政策局 地域政策課	改善 継続	改善 継続	24,485	21,211 (▲3,274)
2	社会福祉団体活動助成事業	健康福祉局 健康福祉総務課	改善 継続	改善 継続	127,530	121,103 (▲6,427)
3	在宅高齢者家族支援事業	健康福祉局 長寿福祉課	改善 継続	改善 継続	58,752	46,656 (▲12,096)
4	農業団体育成事業	創造都市推進局 農林水産課	縮小	縮小	14,011	13,941 (▲70)
5	観光イベント振興事業	創造都市推進局 観光交流課	改善 継続	改善 継続	34,861	34,477 (▲384)
6	住宅建築物耐震改修等事業	都市整備局 建築指導課	継続	継続	164,535	331,830 (167,295)
7	放置自転車等対策事業	都市整備局 都市計画課	改善 継続	改善 継続	40,495	40,286 (▲209)
8	コミュニティセンター等講座 事業	教育局 生涯学習課	改善 継続	改善 継続	21,216	21,665 (449)
			合計		485,885	631,169 (145,284)

4 - (3) 平成27年度高松市公開事業評価実施に係る検討状況

(千円)

No.	事業名	担当局 (担当所属)	判定 結果	検討 方向	H26年度 当初予算	H27年度 当初予算
1	自治会活動推進事業	市民政策局 コミュニティ推進課	改善 継続	改善 継続	12,913	13,129 (216)
2	交通安全教育等推進事業	市民政策局 くらし安全安心課	継続	継続	27,326	27,284 (▲42)
3	国民健康保険保健事業	健康福祉局 国保・高齢者医療課	改善 継続	改善 継続	495,707	512,500 (16,793)
4	老人保護施設措置事業	健康福祉局 長寿福祉課	継続	継続	408,033	397,586 (▲10,447)
5	健康づくり推進事業	健康福祉局 保健センター	改善 継続	改善 継続	67,533	74,456 (6,903)
6	新エネルギー普及促進事業	環境局 環境保全推進課	改善 継続	改善 継続	91,664	47,620 (▲44,044)
7	美しいまちづくり事業	都市整備局 都市計画課	改善 継続	改善 継続	47,543	11,837 (▲35,706)
8	生涯学習センター管理運営事業	教育局 生涯学習課	改善 継続	改善 継続	36,493	36,804 (311)
			合計		1,187,212	1,121,216 (▲66,016)

